



六ツ川大池地区 社協だより

つなげよう 広げよう 健康な「まち」

令和2年12月18日発行
六ツ川大池地区社会福祉協議会
会長 三石 勝
編集委員会 山内 由佳



早いもので師走を迎えました。一方で、新型コロナウイルス感染者数は、日々増加の一途をたどり、未だ終息の兆しも見えない状況が続いております。このような中、自治会・町内会の運営についてもご苦労されていることと思います。そこで、六ツ川大池地区の「コロナ禍における自治会・町内会運営」についてご紹介します。

大丸町内会 会長 三石 勝

新型コロナウイルス感染防止対策のための長い自粛生活は、心身共に疲れましたが、皆様いかがお過ごしでしたでしょうか！医療関係の皆様には心より感謝いたします。

本来の自治会活動がコロナ禍の中で思うように行うことができない状況でした。新生活様式を取り入れ、今後は今までの活動内容を検討し、感染防止対策を講じながら徐々に自治会活動を再開してまいりますので、これからも皆様のより一層のご協力をよろしくお願いいたします。コロナの終息を願いながら、日々健康に気をつけて共に頑張っていきましょう。

芙蓉自治会 会長 後藤 明史

自治会長として6年、特別に新しい活動もなく、業務を遂行しています。

一昨年は会員の皆様のご協力を得て、自治会館の建て替えをすることができました。

このコロナ禍において自治会活動は、感染防止のため行事は行いませんでした。ただ、老人会の「芙蓉クラブ」は、感染症対策を行ったうえ、各種の活動を徐々に復活しております。元気な高齢者の健康維持に努めております。

大野町内会 会長 佐藤 正俊


町内会会長を引き受けて今年で5年目を迎えました。

大野町内会は1965年に結成され、町内会長としては9代目です。

月例活動として「サロンおおの」が《サロン》《コーラス》《麻雀》を開催、個別に《大野クラブ》《子ども会》《グランドゴルフ》《書道教室》《体操教室》等の活動、そして夏祭りや文化祭等により町内会会員同士の情報交換や異世代交流を通じて安心安全な街作りを図ってきました。

今年はコロナ禍で町内会活動が停止状態で町内会会員同士の交流ができず、役員同士もパソコンやスマホを活用しての情報交換です。

来年度は町内会活動が安心して安全に実施できますことを願っております。



六ツ川上第三自治会 会長 君田 永申

毎年上三自治会は、行事を多く行って参りましたが、今年は新型コロナウイルスの影響で開催できなくなりました。自粛生活が長びく事で、自治会の方達とのふれあいができなくなることを危惧していましたが、コロナ感染防止対策をしながら、「ふれあいサロン」を開催しております。早くコロナが終息し、今迄のように町内の方達とのふれあい行事が心おきなく開催できることを望んでおります。

六ツ川上第二自治会 会長 小川 博芳

新型コロナウイルス感染症への対策を打つ中であっても、地域住民同士の関わりは必要です。災害時は勿論、平常時の子ども・高齢者の見守りや交通安全なども必要不可欠であり、社会情勢が変化しても自治会は地域になくてはならない存在です。その中で緊急事態宣言解除後、学校の再開にあたり、交通安全の啓発や登校する子どもの見守りを毎日している交通安全対策部、保護者方々がおり、本当に有難く思っています。また、自治会活動では密にならないように配慮しながら、公園管理部を中心に会員各位の協力により公園清掃を、パトロールボランティアが月二回地域防犯活動を再開しております。こんな時期だからこそ、情報発信が必要だと考え、広報部のご協力のもと「自治会だより」を毎月発行し、組長各位から回覧をしています。情報共有を行うことで、「みんなが情報を知り、動ける、自治会を動かす」そんな自治会にしていきたいと思っています。

六ツ川四丁目町内会 会長 武藤 博之

過去に経験のないコロナ禍の状況であればこそ、地域住民の結束と繋がりが重要だと考えて、他の活動の予算を削ってでも今一番優先するべき事として、全世帯へマスクを配布しました。4月下旬には子ども会加入の子ども達に図書券を配布しました。全世帯へマスクの配布に先行して、長寿クラブの高齢者には1人10枚のマスクの配布をしました。なお、マスクと図書券を渡した子ども達からは、沢山お礼の手紙が届きました。マスクは日頃子ども達がお世話になっている小中学校の先生方と保育園にもお届けしました。この件について神奈川新聞の記事でも取り上げられて、町内住民の方から多くの反響を頂きました。今回のコロナ禍を乗り切るためには、この活動は大変重要で有意義な事であったと感じています。今後もその時々に必要な活動を迅速に行う予定です。

六ツ川台団地自治会 会長 石川 久典

日常の計画活動ができないために災害対策についての活動を進めております。災害発生時に断水した場合を想定して、備蓄の啓発のために災害用簡易トイレパックを全戸配布(2枚)しました。また、非常時の電源としてソーラーパネル付きバッテリーを購入しました。照明、スマホの充電を想定しております。広報では「断水したら」を想定して「給水の仕組み」「非常時の給水限界」を明示して非常時の水の使い方について災害特集を組みました。住民の「非常時の水に対する意識啓発」を試みました。

第二牡丹苑自治会 会長 高橋 昌嗣

六ツ川で、最も高台にある自治会で、富士山も良く見えます。会長の任期は2年、来年3月で交代となります。今年度は予定していた自治会活動も自粛し思うように活動もできませんでしたが、次年に向けて今年度同様よろしく願いいたします。

池の平自治会 会長 貫井 昭成

池の平は、LINEを各役員の連絡網に使っています。毎月配布の回覧板については、LINEでメッセージを送り、受け取りに来ていただいています。配布時間も指定しないで何時から何時までの1時間の余裕を持たせて密にならないようにしました。グループLINEを有効に使うことによって、三役・班長を含む全体グループ等にスムーズに連絡をしています。コロナによって、自治会の通常運営ができないので会員同士のコミュニケーションが少なくなりました。どう対応していくかが課題ですね。コロナの感染情報については、横浜市等で発信している内容をLINEでURLを掲載して、啓蒙しています。早くコロナが収束するといいですね。ワクチンが早期に開発できることを心より祈念しております。

六ツ川上第一自治会 会長 石川 彰

2019年末に発生した新型コロナウイルスに対する感染防止対策を構築する必要から、自治会として、ソーシャルディスタンス確保や三密防止対策を考慮した自治会運営が求められました。

4月 自治会総会は、室内ではなくポニー広場を使用して出席人数を限定して屋外開催。

4月末以降 毎月開催の常会は、時間差による二部体制で開催。

8月 祭礼夏祭は、開催中止。 10月 連合健民祭は、開催中止。

12月 年末餅つき大会は、開催中止。

来年度も引き続きコロナ禍における自治会運営が求められることから、近隣自治会と連絡や情報収集を取り込みながら、新しい生活様式の自治会運営を策定したいと思います。

原の台自治会 会長 新井 政春

定例役員会は、座っての会議方式ではなく、個別対応と電話対応で行って来ました。当面はその方法が続くと思われれます。私が作成した資料や横浜市・県の便りを各組ごとにまとめて配布いたしました。原の台シニアクラブは、11月24日(月)午前10時半から会館下広場でラジオ体操、輪投げ、玉投げ、パターゴルフ、けん玉遊びを行いました。子ども達には、役員や組長さんがクリスマスプレゼントを配達いたします。成人式を迎える方には、同様の手順でお祝い品を届けます。孫たちは、鹿児島島の美味しい物を、モリモリ食べて二人とも元気に登園しています。時々来るフェイスタイムの画像を見ながら会話を楽しんでいます。毎日のように「みてね」の動画や写真が届きます。食欲旺盛なのでたっぷり栄養をとって、インフルエンザやコロナウイルス感染に負けないようにと願っております。

サウススクエア100横浜弘明寺自治会 会長 鴨志田 きみ江

新型コロナウイルスの感染拡大により、今年の自治会活動は多大な制約を受け、本来行われるはずだった行事は、ほとんど中止となりました。当自治会でも、4月の総会を急遽、書面表決で開催しました。そしてコロナ禍の中にあり、活動ができない中、また、自治会会員の高齢化という問題も抱えているため、今後の自治会活動をどうしたらいいのか、自治会の会員の方々の意見を伺うために、アンケート調査を実施しました。予想以上にたくさんのご意見をいただくことができましたので、その集計結果から、今後の自治会活動の重要課題を模索しているところです。このような状況は、現在のコロナ禍が落ち着いても、第二第三のコロナ禍は必ず訪れることを踏まえ、今までとは違う、三密を避けながらも地域との繋がりを保つことができる活動方法を考えていかなければならないと思います。



横浜パークタウン自治会 会長 岸 朝樹

新型コロナで大変の中、地域活動にご理解ご協力頂き有難うございます。新しい生活様式を取り入れ少しずつ活動を始めております。緑の広場清掃活動、ハロウィンイベント実施。11月にはタイムカプセルプロジェクト～新型コロナウイルスに負けるな未来に夢と希望を～を開催しております。皆様の健康を願うと共に、早く新型コロナが終息することを心から祈っております。

オーベル横浜南パークビュー自治会 会長 是枝 教之

昨年から引き続き会長をやらせていただき2年目になります。自治会役員や地域の皆様のご協力でこれまでやれております。今年は新型コロナウイルス感染拡大の影響で活動自粛や縮小となり、夏祭りなどの行事が全て中止となりました。例年であればその行事の準備などが自治会の活動の中心となるのですが、今年は役員の役割や規約の見直し、防災関連の整備など、今までなかなか手がつけられていなかった事に時間が使える良い機会となりました。今まで通りの生活には戻らないと思いますので、新しい生活様式にフィットする自治会になる様柔軟に対応して行きたいと思っております。これからもオーベル自治会をよろしく願いいたします。

支え合いグループすみれ

代表 益子 やす恵

新型コロナウイルス感染防止対策のための長い自粛生活は、不透明な状況で不安な日々心身共にお疲れになった方が多かったのではないのでしょうか！しかし、今迄なにげなく過ごしていた日常がどんなに幸せだったかを実感しました。「コロナと共に」との新生活様式での生活がスタートしましたが、それに対応しながらこの困難を智恵と希望を持って乗り越えていきたいと思っております。すみれの活動も3月4月は、やむをえず自粛しましたが、5月より活動を再開いたしました。再開にあたり活動内容を検討した結果、屋内活動と付きそいは当分の間休ませてもらうことにいたしました。「感染しない、させない」との観点からです。依頼者、ボランティアの方々の健康を守るためですので、依頼者の皆様にはご不自由をおかけしますが、ご理解の程よろしく願います。

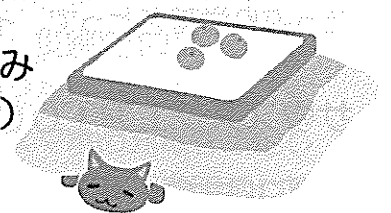
現在、草取り(芝刈)剪定・葉の受け取り・買物代行に限定して活動しております。

ご依頼・ご不明な点は下記へご相談ください

TEL 090-1215-1745

受付 午前9:00~12:00 土・日・祭日休み

(電話に出られない時はのちほど連絡させていただきます)



六ツ川地域ケアプラザ

所長 菊池 秀明

六ツ川地域ケアプラザは「地域の身近な福祉・保健の拠点」として、地域住民の福祉・保健活動やネットワークづくりを支援するとともに、住民主体による支え合いのある地域づくりを支援しています。些細な事でも是非、お気軽にご相談ください。

